



編集後記

■：「平和で安全なニッポン」のイメージは、今では世界に広く知られ、海外からの旅行者も1000万人を超す勢い。

ところが一部で過酷な勤務を強いられた来日フリービンの女性達が、介護施設の運営会社を相手に賠償を求めたケースが集団訴訟で明らかになりました。

多くは日本人男性との間に子供をもうけ在留資格を持つ女性達ですが、マニラで「子供の日本国籍の取得を支援し、収入もいい」と勧誘されて来日、雇用契約の際、「死亡しても会社の責任を永久に問わない」と誓約書に署名させられ、最低賃金は日本人の時給900円より1000円安の800円。

仕事量も多く、休憩が取れず1日の労働時間が最長16時間の日が多かった、と言います。違法労働の強制

で人格権を侵害したと、企業側は処罰されました。えげつない日本人経営者はこの世にまだ存在するものですね。

■：今、我が国では介護人材が約27万人も不足していると言われます。全国規模の労働組合の、例えば春闘の交渉も目立たなくなりました。

技能実習生を受け入れる5173事業所への国の監督指導状況によると、7割超の3695事業所で賃金の不払いや、過酷な残業などの労働法令違反が確認されています。

働く者にとって「平和で安全」なんてどこ吹く風で「労働者地獄」と言ったところででしょうか。

■：ちよっぴり明るい話題は出生率の微増でしょう。厚労省の人口動態統計によると、女性1人が生涯に産む子供の推定人数を示す合計特殊出生率が1.46で、前年から0.04ポイント上昇。出生数は100万5656人で5年ぶりの上昇とか。

一方、死亡数は129万428人で戦後最多。死亡数から出生数を引いた人口の自然増もマイナス28万4772人で戦後最大の減少となりました。

厚労省に言わせると「景気の回復

傾向を背景に30代と人口が多い40代前半の「団塊ジュニア世代」の出産が増えた」ということのように。

■：おめたい結婚したカップルは63万5096組で前年比8653組減。初婚の平均年齢は夫が31・1歳（前年と同じ）、妻が29・4歳。男性の若者達、なかなか結婚に踏み切れないケースが多いようです。

大学のキャンパスでも女子学生達は群れをなして、はしやぎまくっています。男子はポツンと孤独な様子。親御さん達もイライラ。

■：最近発行の週刊誌広告。「金正男暗殺」と並んで「石原」が大きく載っていました。

「百条委、上等！座して死を待つつもりはない。手負いの慎太郎」

もう1つの週刊誌は「石原慎太郎都政 謎の四男（延啓氏（50）」に親バカ血税全調査」と大見出し。中に親から息子に渡った金額がゾロゾロ。小池都政の開く百条委員会に呼び出されるらしいですが、売れっ子作家で出た後の政治好きが災いしてか、84歳のイヤな俗物と化した態（てい）たらく。

哀れと言うしかありませんね。三島由紀夫の最期を見習ったらいかが。

月刊公論 MONTHLY
KORON

4月号 第50巻4号

平成29年4月1日発行 毎月20日発売
本体価格848円（税別） 送料86円

発行人
発行所

大 中 吉 一 編集人 田崎義信 和泉貴志
株式会社財界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616

印刷所
取次店

株式会社廣済堂
トーハン/日本出版販売/大阪屋栗田

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。